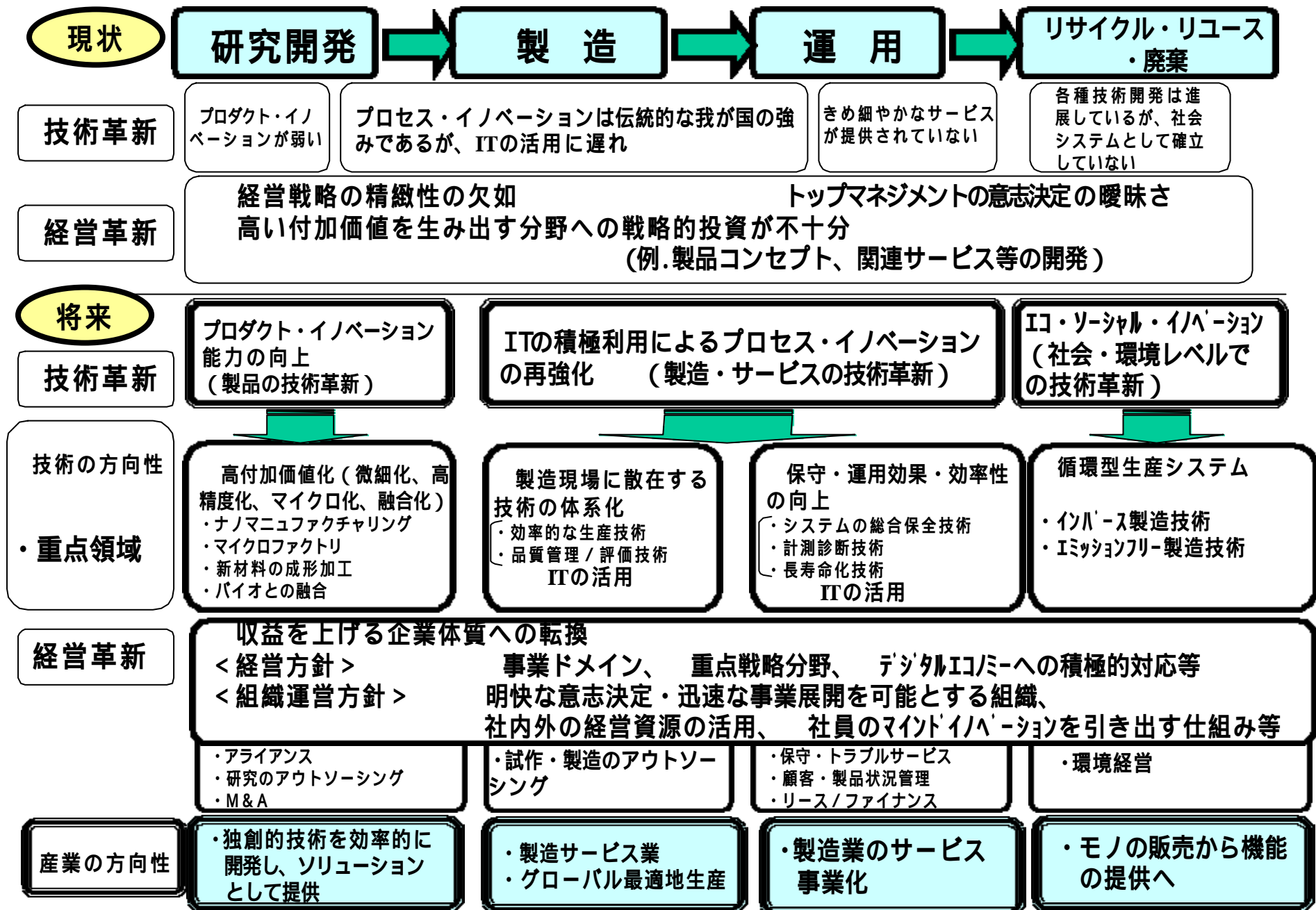


機械産業の目指すべき方向性

～全ての産業の競争力を強化するために～

別添2-1



新製造技術基盤整備イニシアチブ ～ 製造業全体の競争力強化のために～

(1)我が国の強みを反映した製造技術（創り込み技術）の開発と体系化

(2)時間、コスト、品質競争力のあるビジネスモデルの確立

(3)人間、生活、環境に適合した製造技術体系への移行

(4)技術革新システムの整備

ナノマニファクチャリング技術開発

情報通信、バイオ、環境、医療福祉等、広範に渡り、適用できるナノオーダの新たな微細加工技術の産業化を目指した技術開発を行うとともに、マイクロマシン技術の産業化を支援するファウンダリー機能の構築等のインフラ整備を行う。

(H14新規)

新しい材料に対応した成形加工技術開発

優れた基本特性を有する材料を製造業の各分野で使用していくための成形加工技術の開発を行う。

(H14新規)

デジタル・マイスター・プロジェクト

製造現場に散存する暗黙知を分析し、デジタル化を行い、MT (Manufacturing Technology)と融合させた新たな生産システムを構築する。

(H13～H15)

エミッション・フリー・マニファクチャリング

製品製造時に工場から排出される廃棄物を限りなくゼロに近づける生産手法を調査研究

インバース・マニファクチャリング

回収、分解、分別、再利用という製造の逆工程を考慮した製品を設計、製造する技術を開発(H12～H14)

省エネルギー技術開発

各種産業機械の省エネルギー技術開発を実施。

〔工作機械、建設機械、半導体製造装置、事務機械 etc〕

人間工学視点からの製造技術の転換

(別添4参照)

計測・分析基盤技術の整備

製造技術と一体になった計測・分析技術の開発、計量標準・標準物質等の整備、計測・分析方法の標準化の推進

ものづくり知識の集積と普及

加工情報を収集、分析、蓄積し、インターネットで公開することにより中小企業のものづくりを支援